

## 文殊院 板橋区仲宿 28-5

真言宗豊山派、幡場山大聖寺と号す。本尊は文殊菩薩。江戸初期、板橋宿本陣飯田家の菩提寺として延命地藏尊の境内をひろげて建立された。開山は寛永2年(1625)に入寂の権大僧都慶恵と伝える。天保6年に全焼し、安政以降正住職を置かず、赴任する仮住職も短期間で他の大寺へ転住し出世寺とも呼ばれた。山門脇に延命地藏堂、境内に二大閻魔を祀る閻魔堂、足腰の守り神として知られる子の権現がある。閻魔堂内には文化年間に番場原出土と伝えられる石棒が朝日観音として祀られている。飯田家墓地の飯田静の墓碑は昭和63年度に、また本尊文殊菩薩は平成元年度に板橋区の有形文化財に登録された。(板橋区教育委員会掲示より)



山門



本堂



足腰の守り神とされる子の権現





閻魔堂



教育委員会説明版